

聖書から「平和」を学ぶ②

～ 新約聖書と「平和」 ～

はじめに

1. 新約聖書の「平和」を調べてみましょう

- (1) 旧約聖書ギリシア語訳 (七十人訳聖書) での“シャローム” (資料①)
 - ・“シャローム” (237回) 中、89% (212回) が“エイレーネー (εἰρήνη)”
- (2) 新約聖書 (ギリシア語) における“エイレーネー”の用法
 - ・“エイレーネー”は、92回 (資料②) ～新約聖書のほぼすべてに出る
- (3) 日本語聖書 (新共同訳) の「平和」 (資料③)
 - ・「平和」のすべてが“エイレーネー”または関連語
- (4) 意味の広がり (資料④)
 - ・“恵み”や“憐れみ”と一緒に (I テモ 1:2 「恵み、憐れみ、そして平和があるように」)
 - ⇒ 旧約の“シャローム” ≒ 新約の“エイレーネー”

2. イエス・キリストによる“平和”の実現

「平和の神は人間を愛し、この世に真の平和を回復するために御子をお遣わしになりました。御子イエス・キリストは、弱さの中にいる人々の病を癒し、空腹を満たして、その心に喜びを与えられただけでなく、十字架の苦しみと死によって敵意という隔ての壁を打ち破り、永遠の平和を樹立されました。」

(1) この世の平和とキリストの平和

- ・「皇帝アウグストゥス／ローマの平和 (pax romana)」 ⇔ キリストの平和
ルカ 2:14 「地には平和、御心に適う人にあれ」 (1:79 参照)
- ・“柔らかな王” (ゼカ 9:9-10)
ルカ 19:42 「お前も平和への道をわきまえていたなら」
- ・この世のものではない
ヨハ 14:27 「わたしはこれ (平和) を、世が与えるように与えるのではない」

(2) 主イエスの人格と御業に現れた“平和”

- ・病の癒し・罪人との食卓 (マコ 5:34 「安心して行きなさい」) ～正義と憐れみ
- ・神の国の到来 (マコ 10:5 「この家に平和があるように」) ～終末的宣教
- ・十字架の犠牲による和解 (エフェ 2:14 「キリストはわたしたちの平和であります」)

(3) 神との“平和”の実現

ロマ 5:1-11 「主イエス・キリストによって神との間に平和を得ており」
エフェ 2:15-17 「平和を実現し…神と和解させ…平和の福音を告げ知らせ」

(4) キリスト者に与えられる平安と喜び (=救い)

フィリ 4:7 「神の平和が、あなたがたの心と考えとをキリスト・イエスによって守る」
コロ 3:15 「この (キリストの) 平和にあずからせるために、あなたがたは招かれて…」

3. キリスト者(教会)による“平和”の前進 ～「平和の福音」に生きる

「主イエス・キリストこそ、わたしたちの平和です (エフェ 2:14)。それゆえキリストの教会は、主の聖霊による一致と喜びのうちに神を礼拝し、すべての人を尊び、隣人との間にキリストの平和を具現して、この世界に真の和解と祝福をもたらす「平和の福音」に生きる共同体です。」

(1) キリストによる神の国 (支配) と霊的戦い

ロマ 14:17 「神の国は…聖霊によって与えられる義と平和と喜び」

エフェ 6:14-15 「(わたしたちの戦いは、血肉ではなく) 真理を帯として…正義を胸当てとして…平和の福音を告げる準備」

(2) 平和の前進 ～悪を返さず善によって (ロマ 12:17、12:21、I テサ 5:15)

ロマ 12:19-21 「あなたがたは、すべての人と平和に暮らさなさい」 (ヘブ 12:14 も)

ロマ 14:18-19 「平和や互いの向上に役立つことを追い求めよう」

(3) 平和の共同体／祝福の源としての教会形成

エフェ 4:1-6 「平和のきずなで結ばれて」

I ペト 3:9-12 「祝福を受け継ぐために…召されたのです…平和を願って…追い求めよ」

4. 終末までの葛藤と希望

(1) 新約聖書と戦争

・兵士の存在 (ルカ 3:14 「兵士」、7:1、使徒 10 「百人隊長」)

⇨ 戦わない弟子たち

マタ 26:52 「剣をさやに納めなさい」

ヨハ 18:36 「(イエスの国がこの世のものなら) 部下が戦ったことだろう」

マコ 13:14 「(憎むべき破壊者に対して) 人々は山に逃げなさい」

・戦争は、“世の終わり” のしるしではない

黙示 6:4 「地上から平和を奪い取って、殺し合いをさせる力が与えられた」

マタ 24:6 「戦争の騒ぎや戦争のうわさを聞くだろうが…まだ世の終わりではない」

・黙示録における戦い (13:7、16:14 など) は、“主の (霊的) 戦い” のイメージ

(2) 霊的戦いと勝利の確信

ヨハ 16:33 「世で苦難がある。勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」

ロマ 15:13 「希望の源である神が…あらゆる喜びと平和とであなたがたを満たし」

コロ 2:15 「もろもろの支配と権威の武装を解除し、キリストの勝利の列に加えて」



おわりに ～「平和を実現する者」として

「父・子・聖霊なる神の平和は、キリストにおいてすでに実現しつつも、未だ完成には至っていません…。それにもかかわらず、わたしたちは、この世界が与えることも保障することもできないキリストの平和に生きる者として、和解の福音を伝え続け、平和のために祈り、この世に真の平和をもたらすあらゆる働きに参加します。」

・「平和を実現する人々 (εἰρηνοποιοὶ = peace-makers) は、幸いである。

その人たちは神の子 (たち) と呼ばれる」 (マタ 5:9。ヤコ 3:18 参照)

・八つの幸い (心の貧しい、悲しむ、柔和な…) の中で、唯一行動を指す

⇒ “平和” 無き世界に、真の “平和をつくる” ことが、“平和の神” の子たちの使命

『平和の福音に生きる教会の宣言（平和宣言）』

5. 終末における平和の希望と祈り

「これらのことを話したのは、あなたがたがわたしによって平和を得るためである。

あなたがたには世で苦難がある。しかし、勇気を出しなさい。わたしは既に世に勝っている」

（ヨハネ 16:33）

終末において、神は完全な平和をこの世界にもたらされます。その日に至るまで、わたしたちはなお自分自身とこの世界の罪の現実との戦いを避けることができません。

しかし、わたしたちの主はすでに勝利しておられます。わたしたちは、何よりもまず、自らの心の中にキリストの平和を築き、この平和を喜ぶ力によって憎しみや失望に打ち勝ち、決して諦めることなく平和の道を模索し続けます。

この世の悪しき霊との戦いに神の武具を身に着けて立ち向かい、平和の主の到来を待ち望みつつ、心を高く上げて祈ります。

平和の君である主イエス・キリストの父なる神よ、
憎しみと争いの絶えない世にあって、
あなたが御子によってもたらしてくださった平和の道を、
わたしたちが生きて行くことができるように助けてください。

わたしたちの罪をきよめ、あなたの平和の道具としてお用いください。
言葉だけの平和に終わることのないように、
平和を実現するために必要な知恵と力を、聖霊によってお与えください。

あなたによって立てられた為政者たちが、
「剣を打ち直して鋤とし 槍を打ち直して鎌とする」勇気を与えられ、
平和のために働くことができますように。

何よりも主ご自身が愛と正義と平和の御国を
速やかに来たらせてくださいますように。
主イエス・キリストの御名によって祈ります。アーメン。

主の 2023 年 10 月 19 日 日本キリスト改革派教会第 78 回定期大会

▲ 平和を実現する人々は
 家に入ったら、「平和があるように」と
 あなたがたの願う平和は彼らに与えられ
 なければ、その平和はあなたがたに返
 が来たのは地上に平和をもたらすためだ
 ってはならない。平和ではなく、剣をも
 ▲ そして、互いに平和に過ごさない。
 我らの歩みを平和の道に導く。」
 にあれ、地には平和、御心に適う人に
 まず、「この家に平和があるように」と
 平和の子がそこにいる
 あなたがたの願う平和はその人にとどま
 いなければ、その平和はあなたがたに戻
 わたしが地上に平和をもたらすために
 するように。天には平和、いと高きとこ
 この日に、お前も平和への道をわきま
 「あなたがたに平和があるように」と
 わたしは、平和をあなたがたに残
 に残し、わたしの平和を与える。わたし
 がわたしによって平和を得るためである
 「あなたがたに平和があるように」と
 「あなたがたに平和があるように。父
 「あなたがたに平和があるように」と
 マリアの全地方で平和を保ち、主を畏れ
 の人の主です——平和を告げ知らせ、
 私どもは十分に平和を享受しておりま
 ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 も、栄光と誉れと平和が与えられます。
 彼らは平和の道を知らない。
 よって神との間に平和を得ており、
 霊の思いは命と平和であります。
 は、すべての人と平和に暮らさない。
 て与えられる義と喜びなのです。
 だから、平和や互いの向上に役
 するあらゆる喜びと平和とであなたがたを
 平和の源である神があ
 平和の源である神は間
 ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 してはなりません。平和な生活を送るよう
 序の神ではなく、平和の神だからです。
 ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 一つにしないで。平和を保ちなさい。そ
 そうすれば、愛と平和の神があなたがた
 キリストの恵みと平和が、あなたがたに
 愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善
 イスラエルの上に平和と憐れみがあるよ
 ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 トはわたしたちの平和であります。二つ
 い人に造り上げて平和を実現し、
 にいる人々にも、平和の福音を告げ知ら
 平和のきずなで結ばれ
 平和の福音を告げる準
 平和と、信仰を伴う愛

マタ 5: 9
 マタ 10: 12
 マタ 10: 13
 マタ 10: 13
 マタ 10: 34
 マタ 10: 34
 マコ 9: 50
 ルカ 1: 79
 ルカ 2: 14
 ルカ 10: 5
 ルカ 10: 6
 ルカ 10: 6
 ルカ 10: 6
 ルカ 12: 51
 ルカ 19: 38
 ルカ 19: 42
 ルカ 24: 36
 ヨハ 14: 27
 ヨハ 14: 27
 ヨハ 16: 33
 ヨハ 20: 19
 ヨハ 20: 21
 ヨハ 20: 26
 使 9: 31
 使 10: 36
 使 24: 2-3
 ロマ 1: 7
 ロマ 2: 10
 ロマ 3: 17
 ロマ 5: 1
 ロマ 8: 6
 ロマ 12: 18
 ロマ 14: 17
 ロマ 14: 19
 ロマ 15: 13
 ロマ 15: 33
 ロマ 16: 20
 1コリ 1: 3
 1コリ 7: 15
 1コリ 14: 33
 2コリ 1: 2
 2コリ 13: 11
 2コリ 13: 11
 ガラ 1: 3
 ガラ 5: 22
 ガラ 6: 16
 エフェ 1: 2
 エフェ 2: 14
 エフェ 2: 15
 エフェ 2: 17
 エフェ 4: 3
 エフェ 6: 15
 エフェ 6: 23

▲ ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 人知を超える神の平和が、あなたがたの
 い。そうすれば、平和の神はあなたがた
 る神からの恵みと平和が、あなたがたに
 ▲ 十字架の血によって平和を打ち立て、地に
 また、キリストの平和があなたがたの心
 にしないで。この平和にあずからせるた
 の教会へ。恵みと平和が、あなたがたに
 ▲ しないで。互いに平和に過ごさない。
 どうか、平和の神御自身が、あ
 ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 どうか、平和の主御自身が、い
 も、あなたがたに平和をお与えくださる
 憐れみ、そして平和があるように。
 憐れみ、そして平和があるように。
 正義と信仰と愛と平和を追い求めなさい
 エスからの恵みと平和とがあるように。
 ストからの恵みと平和が、あなたがたに
 の王」、つまり「平和の王」です。
 ▲ 人々に、義という平和に満ちた実を結ば
 すべての人との平和を、また聖なる生
 ら引き上げられた平和の神が、
 義の実は、平和を実現する人たち
 人たちによって、平和のうちに蒔かれる
 たのです。恵みと平和が、あなたがたに
 り、善を行い、平和を願って、これを
 なたがた一同に、平和があるように。
 によって、恵みと平和が、あなたがたに
 れが何一つなく、平和に過ごしていると
 の恵みと憐れみと平和は、真理と愛のう
 あなたに平和があるように。友
 憐れみと平和と愛が、あなたが
 リストから恵みと平和があなたがたにあ
 者には、地上から平和を奪い取って、殺

フィリ 1: 2
 フィリ 4: 7
 フィリ 4: 9
 コロ 1: 2
 コロ 1: 20
 コロ 3: 15
 コロ 3: 15
 1テサ 1: 1
 1テサ 5: 13
 1テサ 5: 23
 2テサ 1: 2
 2テサ 3: 16
 2テサ 3: 16
 1テモ 1: 2
 2テモ 1: 2
 2テモ 2: 22
 テト 1: 4
 フィレ 3
 ヘブ 7: 2
 ヘブ 12: 11
 ヘブ 12: 14
 ヘブ 13: 20
 ヤコ 3: 18
 ヤコ 3: 18
 1ペト 1: 2
 1ペト 3: 11
 1ペト 5: 14
 2ペト 1: 2
 2ペト 3: 14
 2ヨハ 3
 3ヨハ 15
 ユダ 2
 黙 1: 4-5
 黙 6: 4

13¹¹, I テサ 5¹³). *

εἰρήνη, -ης, ἡ, 平和, peace. ①国家の平静状態, 平安, a state of national tranquility, peace (ルカ 14³², 行伝 9³¹, 12²⁰, 24², 黙示 6⁴). ②(個人間の) 平和, 和合, peace between individuals, concord (マタ 10³⁴, ルカ 12⁵¹, 行伝 7²⁶, ロマ 14¹⁷, I コリ 7¹⁵, ガラ 5²², エペ 2^{14,17}, 4³). ③安全, 幸福, security, felicity (マコ 5³⁴, ルカ 7⁵⁰, 8⁴⁸, 11²¹, 19⁴², I テサ 5³, ヘブ 7²). ④(メシヤの) 平和, 救い, the Messiah's peace, salvation (ルカ 1⁷⁹, 2¹⁴, 19³⁸, 行伝 10³⁶). ⑤(信仰による) 心の平和, peace of heart (ヨハ 14²⁷, 16³³, ロマ 5¹, 8⁶, 10¹⁵異, 15¹³, ピリ 4⁷, II ペテ 3¹⁴).

§ マコ 5³⁴ ὕπαγε εἰς εἰρήνην, ごきげんよう (別れる時のあいさつ), may happiness attend you, good-bye. § ロマ 15³³ ὁ θεὸς τῆς εἰρήνης, 平和の (主なる) 神, God the author of peace (ロマ 16²⁰, II コリ 13¹¹, ピリ 4⁹, I テサ 5²³, ヘブ 13²⁰). § ヘブ 11³¹ μετ' εἰρήνης, 柔和な, 友情的な気持ちで, in a mild, friendly spirit. § ヤコ 3¹⁸ ἐν εἰρήνῃ, 平和の精神で, in a peaceful mind.

⑥(死後の) 祝福された状態, 平和, the blessed state after death (ロマ 2¹⁰).

εἰρηνικός, -ή, -όν, 平和の, relating to peace. ①平和を愛する, loving peace (ヤコ 3¹⁷). ②平和な, peaceful (ヘブ 12¹¹). *

εἰρηνοποιέω, -ῶ, 【不遇】εἰρηνοποίησα 【εἰρηνοποιός, 平和を好む】平和をつくる, to make peace (コロ 1²⁰). *

εἰρηνοποιός, -όν, 平和を好む, loving peace. ὁ εἰρηνοποιός, 平和をつくり出す人, a peace-maker (マタ 5⁹). *

εἶπω, →εἶπον

εἰς, 【前置】【+4】～の中へ, ～に向って, ～を目標として, ～の間に, into, towards, for, among.

I. (場所) ①(都市, 家, 会堂などの) 中へ, into (マタ 8²³, 9⁷, 17²⁷, 26¹⁸, 28¹¹, マコ 1⁴⁵, ルカ 2¹⁵, 8³¹, ヨハ 1^{9,11}, 3¹⁹, 6¹⁷, 16³², 行伝 17¹⁰, 21⁶). ②～の方に向って, towards (マタ 21¹, マコ 11¹, ルカ 14²³, 18³⁵, 19²⁹, 24⁵, ヨハ 4⁵, 11^{31,38}, 20¹). ③～の間に, among (マコ 4⁷, 8^{19,20}, ルカ 10³⁶, 11⁴⁹, ヨハ 21²³, 行伝 18⁶, 20²⁹, 22^{21,30}, 26¹⁷). ④～の上に, on, upon (マタ 8¹⁸, 14²², マコ 4³⁵, 行伝 26¹⁴, 黙示 2²², 8^{5,7}, 9³, 12^{4,9}). ⑤～の方へ, towards (マタ 21¹, マコ 3⁷, 11¹, ルカ 14²³, 18³⁵, 19²⁹, ヨハ 4⁵, 11^{31,32}異, 20^{1,3,4}). ⑥～まで, as far as, even to (ルカ 17²⁴, 行伝 23¹⁵, ロマ 5¹², 16¹⁹, II コリ 9⁵, 10¹⁴). ⑦～に向って, (turning) towards (ルカ 6²⁰, 9^{16,62}, ヨハ 13²², 行伝 3⁴, 22¹³). ⑧～に向って, (directing one's remarks) to, towards (マコ 1³⁹, 5¹⁴, 13¹⁰, 14⁹, ルカ 4⁴⁴, 8³⁴, 24⁴⁷, ロマ 16²⁶, I テサ 2⁹).

II. (時) ①～のために (目標に), for, unto (マタ 6³⁴, 行伝 4³, エペ 4³⁰, ピリ 1¹⁰, 2¹⁶, II ペテ 2⁹, 3⁷, 黙示 9¹⁵). ②～まで, even to, until (行伝 25²¹, I テサ 4¹⁵, II テモ 1¹²).

III. (転義的に用いられる場合) ①～に (変わる), (to be changed) into (マタ 19⁵, 21⁴², マコ 10⁸, 12¹⁰, ルカ 20¹⁷, 行伝 4¹¹, I コリ 6¹⁶, エペ 5³¹, ヘブ 8¹⁰, I ヨハ 5⁸). ②(行く, 来る, 導くなどの意味を表わす動詞を伴って) ～に (へ) はいる, (ある状態) になる, into (マタ 6¹³, 18⁸, 19¹⁷, 25^{21,23,46}, 26⁴¹, マコ 5²⁶, 14³⁸, ルカ 22³³, ヨハ 5²⁴, I ヨハ 3¹⁴). ③引き受ける, undertake, take up (ヨハ 4³⁸, II コリ 12¹, 黙示 9⁹). ④だれそれの (利益, 不利益の) ために, for (one's advantage or disadvantage) (行伝 24¹⁷, ロマ 10¹², 15^{16,26}, 16⁶, II コリ 8⁴, 9¹, 13⁴, ガラ 4¹¹, エペ 1¹⁹, 3², ピリ 4¹⁷). ⑤～について, with respect to, in reference to (マタ 14³¹, ルカ 7³⁰, 行伝 25²⁰, ロマ 4²⁰, 15², II コリ 10¹⁶, 13³, ガラ 6⁴, エペ 3¹⁶, ピリ 1⁵, 2²², I テサ 5¹⁸). ⑥εἰς τὸ+不定法, ～するように, so that……may (ロマ 1^{11,20}, 4^{16,18}, 11¹¹, 12², 15^{8,13}, I コリ 9¹⁸, 10⁶, II コリ 8⁶,